

平成 23 年 5 月 10 日

各 位

会 社 名 シンワオックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 橋本 幸延
(コード番号 2654 大証第二部)
問合せ先 管理本部本部長 本多 宏毅
(TEL. 06-6683-3101)

平成 23 年 3 月期通期業績予想の修正、特別利益および特別損失の計上に関するお知らせ

平成 23 年 3 月 28 日に公表いたしました通期（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）における業績予想を下記のとおり修正いたします。

また、平成 23 年 3 月期第 4 四半期会計期間において、下記のとおり特別利益および特別損失を計上いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期通期（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）業績予想の修正

(1) 連結

(単位：百万円，％)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	8,337	257	△29	2,620	17 円 71 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	8,505	354	83	2,746	18 円 56 銭
増 減 額 (B-A)	168	97	112	126	
増 減 率 (%)	2.0	37.7	—	4.8	
(ご参考) 前期実績（平成 22 年 3 月期）	13,680	△785	△1,144	△2,906	△19 円 20 銭

(2) 個別

(単位：百万円，％)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	6,058	427	224	2,557	17 円 29 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	6,192	508	316	2,671	18 円 06 銭
増 減 額 (B-A)	134	81	92	114	
増 減 率 (%)	2.2	19.0	41.1	4.5	
(ご参考) 前期実績（平成 22 年 3 月期）	11,637	△558	△904	△2,895	△19 円 13 銭

2. 修正の理由

(1) 連結通期における業績予想の修正について

a. 売上高

第4四半期会計期間において、介護事業における高齢者福祉施設の入居斡旋営業にかかる人材育成に注力した結果、予想を41百万円上回りました。また、当該に関連し、高齢者福祉施設へ給食を提供しております給食事業も予想を71百万円上回りました。また、卸売事業においては15百万円、連結子会社でありますOX香港では38百万円、それぞれ予想を上回りました。そのため、当初予想を1億68百万円上方修正いたします。

b. 営業利益

前述aの影響により、当初予想を97百万円上方修正いたします。

c. 経常利益

前述bの影響及び、6億円の債務免除を受けたことによる借入金の金利軽減・後述しております関税にかかる金利の見積もりを変更したことにより、営業外費用において当初予想を14百万円下回りました。そのため、当初予想を1億12百万円上方修正いたします。

d. 当期純利益

前述b・cの影響及び、特別利益として、当社は、食肉の輸入にかかる関税を海上保険の引受け保険会社に立替支払いをしていただいております。当該を海上保険の引受け保険会社に分割支払いしておりました。そのため保守的な考えのもと、当該立替金残高に対し一般に公正妥当と認められる金利利率を用いて金利相当額を見積り未払金として計上しておりますが、保険会社よりの「金利が発生する取引ではない」との見解を受け、当該見積りを変更したことにより計上しておりました未払金25百万円を過年度未払金戻入額として特別利益に計上することによるもの、また、特別損失として、東日本大震災による災害損失・固定資産売却損・固定資産除却損・店舗整理損・減損損失として4百万円を特別損失に計上することによる影響であります。そのため、当初予想を1億26百万円上方修正いたします。

以上a・b・c・dの理由により、売上高85億5百万円、営業利益3億54百万円、経常利益83百万円、当期純利益27億46百万円に修正するものであります。

(2) 個別通期における業績予想の修正について

a. 売上高

第4四半期会計期間において、介護事業における高齢者福祉施設の入居斡旋営業にかかる人材育成に注力した結果、予想を41百万円上回りました。また、当該に関連し、高齢者福祉施設へ給食を提供しております給食事業も予想を71百万円上回りました。また、卸売事業においては15百万円予想を上回りました。そのため、当初予想を1億34百万円上方修正いたします。

b. 営業利益

前述aの影響により、当初予想を81百万円上方修正いたします。

c. 経常利益

前述bの影響及び「2. 修正の理由(1) c」における記載と同様の理由により、当初予想を92百万円上方修正いたします。

d. 当期純利益

前述b・cの影響及び「2. 修正の理由(1) d」における記載と同様の理由により、当初予想を1億14百万円上方修正いたします。

以上a・b・c・dの理由により、売上高61億92百万円、営業利益5億8百万円、経常利益3億16百万円、当期純利益26億71百万円に修正するものであります。

3. 特別利益の計上について

(1) 連結

特別利益といたしまして、関税の未払金における金利見積りの変更により25百万円を過年度未払金戻入額として特別利益に計上するものであります。

(2) 個別

特別利益といたしまして、関税の未払金における金利見積りの変更により25百万円を過年度未払金戻入額として特別利益に計上するものであります。

4. 特別損失の計上について

(1) 連結

特別損失といたしまして、東日本大震災による災害損失・固定資産売却損・固定資産除却損・店舗整理損・減損損失として4百万円を特別損失に計上するものであります。

(2) 個別

特別損失といたしまして、東日本大震災による災害損失・固定資産売却損・固定資産除却損・店舗整理損等として3百万円を特別損失に計上するものであります。

(注) 上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合がございます。